

いわてシニアネット & KAWAGUCHI

「文化サロン」開催!

〈地学と歴史の融合に注目〉

岩手、盛岡の大地が形づくられた過程を科学的に解明。ふるさとの歴史を地学の観点から見つめ直そう!

いわてシニアネット
第62回文化サロンのご案内

講師 **柳沢忠昭** 先生
(日本洞穴学研究所 代表理事)



盛岡市周辺の山里には、今も、盛岡城石垣修理に用いられたものと同じ花崗岩が見られる



「岩手」の地名の由来に登場する「三ツ石」の巨石。その正体とは…

岩手、盛岡 大地の成り立ち

私たちが暮らす、岩手の大地がどのように誕生したか、みなさんは疑問をもったことがあると思います。岩手県の面積のほぼ3分の2を占める北上高地は、三葉虫、アンモナイト、恐竜などの化石を産し、全国でも古い時代からの地層が揃っていて、その東半分が2013年に三陸ジオパークとして認定されました。今回は、北上高地の形成の過程や中生代白亜紀に起きた大変動とそれに伴ってできた花崗岩類、白亜紀以降、長期に亘る侵食で平坦化した後に隆起に転じてつくられた山並みや三陸沿岸の地形、そして岩泉龍泉洞の神秘などについて、鍾乳洞を中心に北上山地の研究を続けている柳沢忠昭先生がお話します。

2015.5/28(木)

会場 / もりおか歴史文化館研修室 (盛岡市内丸1-50)
時間 / 午後1時30分～3時30分 (開場 午後1時)
定員 / 60名

*当日先着順で受付。定員を超える場合は入場制限あり。
*参加者は当日に限り、もりおか歴史文化館常設展示・企画展示を無料でご覧いただけます。

Profile

やなぎさわ ただあき
柳沢 忠昭 先生

日本洞穴学研究所 代表理事

宮古市出身。岩手大学教育学部卒業後、岩手県内の高校教諭・岩手県立博物館学芸調査員として、個人研究やクラブ指導を通じて鍾乳洞や北上高地の地質の調査、天体観測に携わる。鍾乳洞をつくる地下水流のつながりや水質について調査を続けているほか、岩泉町ジオパーク推進協議会委員として、ガイドブック作成等に当たっている。

【主な社会活動、研究活動団体】

日本洞窟学会会員 日本洞穴学研究所代表理事
岩泉町ジオパーク推進協議会委員
盛岡天文同好会会員

主催 / 川口印刷工業株式会社

〒020-0841 盛岡市羽場 10-1-2
電話 019-632-2211 (代)
URL / <http://www.kpi.co.jp/>

NPO法人いわてシニアネット

〒020-0136 盛岡市北長寺町 1-60
電話 019-681-6160
Eメール / isn@mbr.sphere.ne.jp
URL / <http://www.moon.sphere.ne.jp/isn/>

